



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和6年12月25日発行

東久留米市立南中学校

〒203-0021 東久留米市学園町 2-1-23

校長 若澤 直樹

2学期を振り返る

2学期に自分が頑張ったことは

たくさんの行事があり、子どもたちにとって充実した2学期が終わります。保護者の皆様、地域の皆様には、南中の教育活動へのご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

12月の声を聞くまでは暖かい日が続いていましたが、ここに来て年末らしい寒さと乾燥した毎日です。インフルエンザの流行がニュースで取り上げられていましたが、南中学校でも学級閉鎖など感染拡大予防の対応することを余儀なくされました。学級閉鎖中のクラスでは本日通知表をお渡しすることができず、後日のお渡しになってしまいますが、年末年始の医療機関がお休みの時期に感染が拡大することを懸念してのことです。どうぞご理解ください。

1月8日の始業式には元気に全校そろって3学期をスタートできるよう、ご家庭でも冬休み中は感染予防にご留意してお過ごしください。

さて、2学期を振り返ると生徒主体の校内行事での活躍が大変すばらしい学期でした。具体的には各学年だよりで毎回お伝えしていますが、3年生の面接練習で「南中学校はどんな学校ですか」と問いかけると、今年は「生徒が自主的に活動し行事などをおこなっている学校です」という昨年度にはなかった答えがいくつも返ってきました。行事自体は昨年度と大きく変わってはいないので、生徒自身の意識が大きく変わってきたのだと思います。

また、校外での活躍も大変充実していました。生徒会提案の東久留米市フォトギャラリーは、今年は実行委員会が、市の施設だけでなく近隣の商業施設での展示にも、と取り組んでいました。会場のQRコードを通じて「とても素敵な写真が撮れてよかったと思います。また中学生の視点なのが面白く、散歩コースや好きな場所といったところを紹介してくれていて何となく心が温かくなる感じがしました」「地元のこと、芸術のこと、身近な場所で触れられてとても素晴らしい催しだと思います。ただのフォトコンテストならスルーしていたと思うが、自分の住んでいる土地の知らない面、個性に基づく切り取り方を見ることができてよかった」など、たくさんの温かい感想を寄せていただきました。

青少協主催の「おもほり」や「お餅つきとあそび」でのボランティアとしての南中生の活躍にも、「小学生のようすに合わせて、見守ったり手助けしたり、細かな配慮をしながら相手をしてあげている様子に感動しました」など、ただのお手伝いにとどまらない自分たちができていることを考え工夫しながら活動していることへの褒めの言葉をいただきました。

様々な活動を通じて、自分の成長を感じ取り、自己肯定感とともに自分の居場所を一つ一つ固めていくことで、子どもたちの心は安定してその先に成長していくことができます。

学校からの通知表も自分の成長を確認するツールですが、通知表の各教科の評価は個人の頑張った伸びしろを評価する「個人内評価」ではなく、評価基準に基づく「絶対評価」という評価です。個々が頑張ったことがそのまま出てくるものではなく、評価されるのはそれぞれの教科活動での到達点の評価規準に対しての位置となります。学習面での成長の指標であり次の目標への大切なデータではありますが、生徒によっては自分の人格全てに対しての評価のように感じ、誤った捉え方をしてしまうことで自信をなくしてしまうこともあり得ます。学校では通知表は次の努力のポイントを考えるための資料としての意義が大きいことを伝えていきます。

ぜひご家庭では学校内外でのお子さまの「今学期頑張ったこと」を聞いてあげてください。そしてその頑張ったことの価値を身近な人が認めてあげることが、特に自信を無くしがちなこの時期にはとても大切です。どうぞよろしく願いいたします。

人権が守られる世界に

性暴力相談シートを配布しました

12月10日は世界人権デーでした。学校では1学期末と同様に終業式で生徒全員に暴力や体罰・性暴力についてのお話をしました。ご家庭でも冬休みには国際社会で起きているような人権を損なう出来事について考えるとともに、身近なところでの人権についても考える機会がもてると素晴らしい学びになると思います。また、自分が困っていて、身近な人にも相談できない時には、自分の人権を守るため、配布した相談シートなど様々な相談の窓口を使えることも伝えました。ご家庭でもご確認ください。

青少協主催 もちつき体験とあそび

12月1日(日)に青少協主催の体験学習「もちつき体験とあそび」が行われました。雲一つない青空のもと、南町小学校、第五小学校から250名を超える小学生が集まり、南中学校から63名のボランティア生徒が体験に参加し、大盛況の体験学習となりました。

あそびコーナーでは、竹馬や羽子板やコマ回しなどの昔あそびを、初めて体験する小学生を相手に、ボランティアの中学生が優しく教えてあげたり、一緒に遊んであげたりしながら、優しいお兄さん、お姉さんとして大活躍していました。お餅つきでは600名分のお餅をつき、美味しいきな粉餅を作ってくれました。体験学習終了後は、お腹一杯お餅を食べ、大満足の日となりました。



がん教育 ～「勝つ」ことより「負けない」人生を送る～

12月13日に、2年生を対象にした「がん教育」が行われました。豊島区立千登世橋中学校から小林豊茂校長先生をお招きし、ご自身が体験したがん克服への道のりについて、お話をいただきました。

「がん」という病気について、ご自身のがんの状態をスライドで投影しながら、具体的に分かりやすく説明をしていただきました。「がん」についての理解を深めると同時に、「命の大切さ」についても考える機会となりました。



<生徒感想>

- ・ステージ4のがんは、今まで通りの生活はもう送れないと思い込んでいたが違っていった。患者さんが努力し続けたり、お医者さんや看護師さんのおかげで、がんを負けない人生を送ることができると思った。
- ・自分はまだ関係ないと持っていたけど、大切な人や自分ががんになったら、今日のことを思い出して「生命力」という言葉を忘れず、がんと闘えるようにしたい。

南中生の活躍

○東久留米市人権尊重推進月間

<標語部門>

- 教育長賞 平湯 紗良 「比べるな 君にしかない 色がある」
努力賞 安立 弘毅 「見てるだけ あなたも同じ 加害者に」

<作文部門>

- 努力賞 矢部 拓翔 「戦争のない明日へ」
努力賞 中嶋 海 「ジェンダーと障害のある人について」

○薬物乱用防止ポスター、標語募集

<標語部門>

- 地区会長賞 岩間 唯愛 「薬物で傷つけるのは あなたの心と あなたの未来」
優秀賞 川瀬 創絢 「あなたの身体 あなたの心 あなたの家族 全てを滅ぼす 薬物乱用」



表彰式の様子